



臨床＋病理でともに理解を深める教育的症例検討会 ～基礎から最新の話まで～

若手腎病理医、若手臨床医の更なるスキルアップを目指し、学術委員会主導の症例検討会、教育講演を行います。腎病理に携わる若手医師の方々だけでなく、指導医の先生方、腎病理に興味を持つ医療関係者の方々の参加をお待ちしております。

日時 2026年12月20日(日) 10時～11時50分
(Zoomによるライブ配信＋オンデマンド配信)
オンデマンド配信期間: 2027年1月18日～3月31日

参加費 1000円 (ライブ・オンデマンド共通チケット)

参加方法 申し込み期限 2027年2月28日
下記URLあるいはQRコードから参加登録
<https://peatix.com/event/5179136>



座長: 原 重雄 先生

(神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科)

小林 アズサ 先生

(日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院 腎臓内科)

症例検討

「生体腎移植後早期にDSA- and C4d-negative
microvascular inflammationをきたした症例」

臨床プレゼン: 森 杏里 先生

(金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科)

病理プレゼン: 佐賀 信之 先生

(神戸大学医学部附属病院 病理診断科)

教育講演

「移植腎生検を時期で読むー移植後経過に応じた診断のポイント」

岩崎 沙理 先生 (北海道大学 大学院医学研究院 統合病理学教室)

日本腎病理協会HP (<http://plaza.umin.ac.jp/~arps/>)にも案内を載せています。

問い合わせ先: 日本腎病理協会学術委員会教育プログラムWG renalpathedu@gmail.com